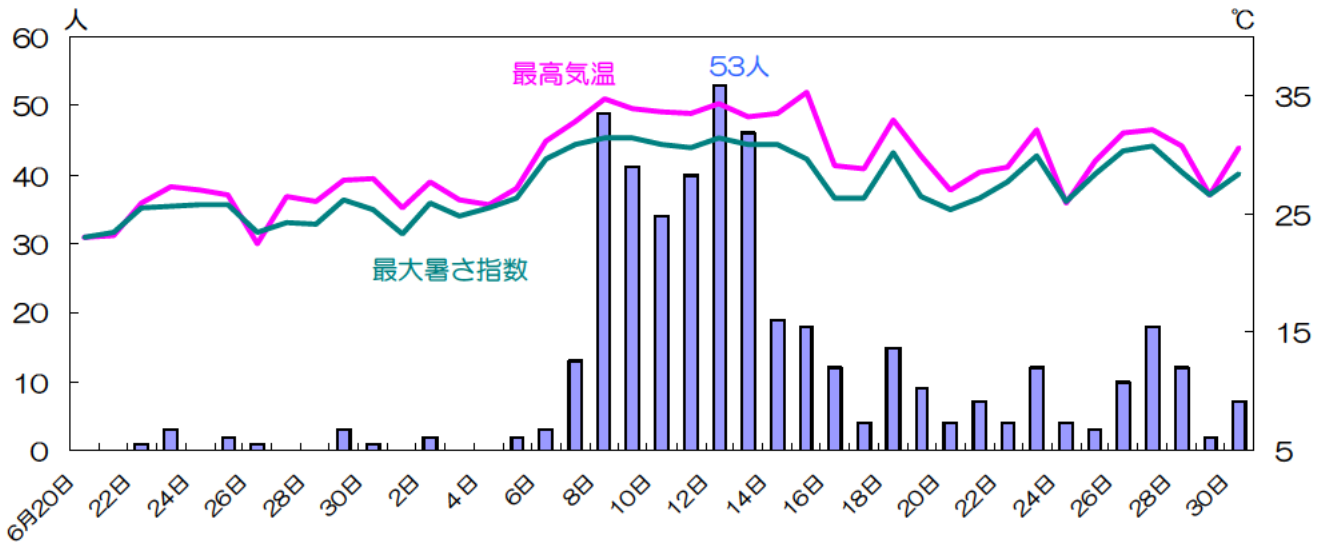


熱中症情報

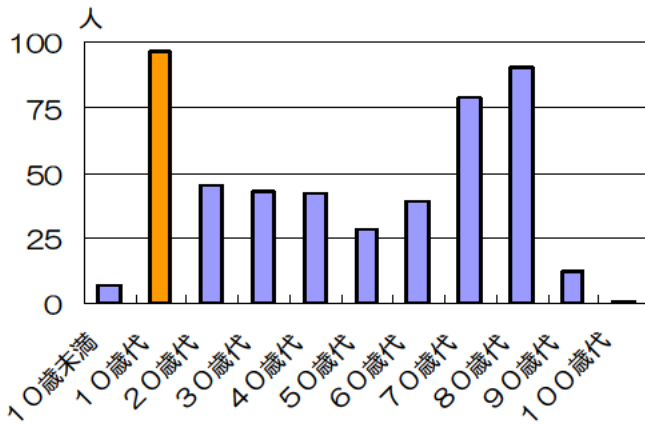
<搬送人数>

平成25年5月8日～7月30日までの搬送数は、計482人（5月9人、6月30人、7月443人）です。7月6～15日は、最高気温が30℃以上の日が続き、搬送数が急増しましたが、7月16日以降、しのぎやすい日が続き、搬送数（前週の約5分の1）は減少しました。7月23日以降、最高気温が30℃以上・最大暑さ指数が厳重警戒（28～31℃未満）が5日あり、1日あたりの搬送数は前週よりも増加しています。



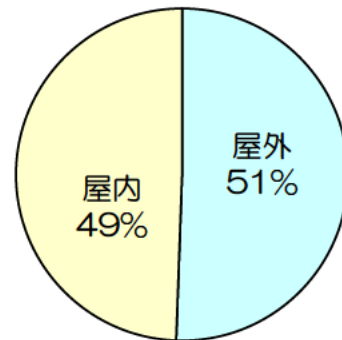
<年齢別>

10歳代が一番多く20%を占め、次に80歳代が19%でした。



<発生場所>

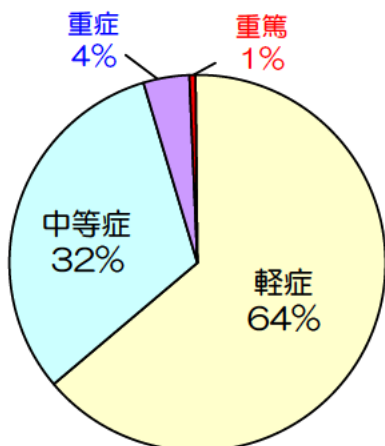
屋内が49%、屋外が51%でした。



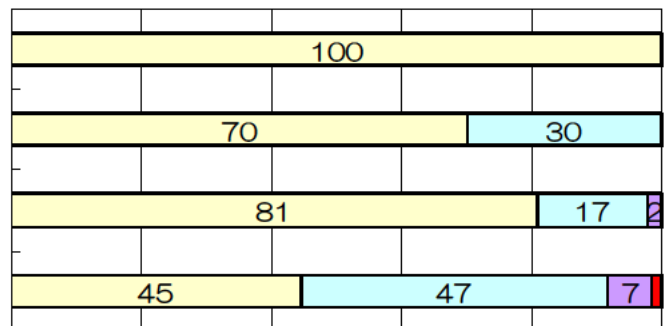
<重症度>

軽症64%、中等症32%、重症4%、重篤1%でした。

高齢者で、中等症・重症・重篤の占める割合が高く、重症化の傾向がうかがわれます。



乳幼児（0～6歳）
少年（7～17歳）
成人（18～64歳）
高齢者（65歳以上）



0% 20% 40% 60% 80% 100%

□ 軽症 □ 中等症 □ 重症 ■ 重篤